

第3学年	美術科	使用教材	兵庫県の美術、ウォッチ、レタリング字典、ポスターカラー、ワークシート 粘度（陶土）、高麗石
------	-----	------	--

<学習の目標>

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見詰め感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

授業のポイント	・忘れ物をしない。 ・話をしっかりきく。 ・計画的に進める。 ・作品は期限内に完成させ、提出する。 ・自分らしく個性的な作品にする。
家庭学習について	・周りのものに常に目を向け、美しい形・色・風景・季節の移り変わりなど、意識的に目と心でとらえられるように心がけましょう。 ・生活の中で見つけたイラストやポスター・チラシなどを集め、表現の参考にしてみましょう。 ・感動した「こと」や「もの」について、形や色、言葉で表現してみましょう。
テストについて	・一学期期末（筆記） ・二学期中間（筆記） 他、授業中に実技テストを行います。

評価の観点	判断基準について
A 観点 知識および技能 形や色・材料などの特徴や効果を理解しているとともに、表現方法を創意工夫し創造的に表している。	・材料や知識などの理解 ・制作過程の工夫や技能
B 観点 思考、判断、表現 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・作品の構想やアイディアスケッチおよび下絵等 ・鑑賞の取り組み
C 観点 主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・出席、提出物、準備物 ・授業態度やその完成度など

<1学期>

月	学習内容	付けさせたい力	課題
4	・オリエンテーション	・授業の受け方・美術室の使い方・年間計画について	スケッチ用紙
5	・自画像	・どんな気持ちの自分を描こうか。 ・人物が描くための方法を理解できる。 ・パーツやバランスに気をつけ、鉛筆で線を描くことができる。 ・アイパッドの写真機能を使いこなすことができる。 ・自分の作品を客観的に見つけ、文章で表現することができる。	スケッチブック 画用紙 ミューズボード
6	・陶芸 「陶のうつわ（立体）」 ・アイディアスケッチ ・道具の使い方・練習 ・制作	・伝統工芸（やきもの）の歴史や制作方法について知ることができる。 ・生活を豊かにするデザインを考えることができる。 ・陶土の特製をつかみ、基礎技法を学ぶ事が出来る。 ・陶土の特製を生かした作り方を工夫し、デザイン画の良さを立体に表すことができる。	兵庫県の美術 陶土 へら、こて、かんなど
7	・仕上げ・作品名づけ・鑑賞	・計画をたて、試行錯誤を重ね、自分らしさの光る作品になるように仕上げる事が出来る。 ・かたちの特徴から感じたことや考えたことを言葉で書き表しながら、主題を生みだすことができる。	ワークシート

		・友だちの作品の個性の良さを味わいながら、自分の作品を観客的に見つめ、作品を振り返り、文章に表すことができる。	
--	--	---	--

< 2 学期 >

月	学習内容	付けさせたい力	課題
8	・ ポスター制作	・ 伝えたいことが見る人の心に届くよう色彩や構成を工夫し、道具を生かしていねいに仕上げることができる。	画用紙
	・ ポスター鑑賞	・ 制作したポスター作品を観客的に振り返り、作品の良さを見つけ文章に表す。	ワークシート
9	・ 自画像仕上げ	・ 鉛筆の濃淡を知り、グラデーションをつけ、立体的に影をくわえていくことができる。	
10	・ 鑑賞	・ 制作した作品から感じたことや考えたことを言葉で書き表したりしながら、主題を生み出すことができる。ストーリーを考え言葉で書き表すことができる。	額（フレーム） ワークシート
	・ 鑑賞会（学習発表会鑑賞）	お互いが個性を認め、それぞれの表現の工夫や良さを言葉で表すことができる。	
11	・ 篆刻 文字のデザイン 立体のデザイン	・ 篆刻（歴史）について知ることができる。 ・ 古典的な文字を石に表現することができる。 ・ 石の特性をつかみ、基礎技法を学ぶことができる。 ・ 石に藩の下書きを写し取ることができる。 ・ ニードルを使って石に逆文字彫ることができる。 ・ 計画を立て、試行錯誤を重ね、繰り返し作業を進めることができる。 ・ 印泥の特性を理解することができる。 ・ 石の特性を生かした作り方を工夫し、立体のデザイン画を考えることができる。	色立体 兵庫県の美術 高麗石
12	・ 鑑賞	・ 自分の作品、友達作品それぞれの完成の違いに気づき、認め、文章に表すことができる。	

< 3 学期 >

月	学習内容	付けさせたい力	課題
1	・石の立体 篆刻の紐ちゅう	・伝統工芸について学ぶことができる。 ・立体造形について学ぶことができる。 ・石の特性を知り、使いやすさと美しさを合わせたデザインを考えることができる。 ・自分のデザインから最適な工程を考え、制作スケジュールをたて、実行することができる。 ・ナイフやかんなのこぎり、やすりなどで、細かく彫り、研磨紙、完成させることができる。 ・完成した作品を客観的に振り返り、作品の良さを見つけ文章に表すことができる。 ・自分の作品、友だちの作品それぞれの完成の違いに気づき、認め、文章に表すことができる。	プリント
2			高麗石 カンナ 金のこぎり やすり、紙やすり
3			ワークシート

< 荒牧中学校 研究テーマ > 「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成
～言語活動の先にある協同的探究を目指して～」

- ・自分の作りたいものへ、考えたことを言葉で書き表しながら主題を生み出し制作を深める。
- ・作品を観て、お互いの個性をみとめそれらの表現の工夫や良さを文字で表現する。